

御意見の要旨と御意見に対する本市の考え方

○御意見者数：171名，御意見数：365件

1 全体について（計50件）

No.	御意見の要旨	件数	本市の考え方
1	整備の方針に概ね賛成し，期待する。	20	基本計画に掲げた方針に沿って着実に整備を進めていけるよう，取組を推進してまいります。
2	誰でも芸術になじめる，市民が気楽に入れる美術館にしてほしい。	3	京都市美術館は，京都市にとどまらず日本の文化芸術を担った市民の財産であるという認識の下，市民に開かれた美術館となるよう取り組んでまいります。
3	市民の芸術文化に対する情熱に資するよう整備を進めてほしい。	1	
4	美術に関心のない人間にとっても魅力的な施設となるよう期待。	1	
5	「滞在型美術館」という方向性に期待。	3	
6	美術館の岡崎地域で望まれている役割を遂行してほしい。	2	ロームシアター京都をはじめとした岡崎地域に集積する諸施設との連携を強化し，岡崎地域活性化ビジョンの具現化等，地域全体の視点を持って施策を推進してまいります。
7	再整備される京都会館との相乗効果に期待。	1	
8	近代的な整備と多様なイベントの実施を期待。	1	
9	今の美術館の歴史のある雰囲気を生かしてほしい。	1	
10	歴史ある都市の美術館として整備後も長く使えるように。	1	
11	本館と新棟をうまく調和させ，京都を象徴するシンボルに。	1	
12	京都市美術館のブランド力を生かして新しい試みに取り組んで。	1	
13	京都らしさを追求した再整備を。	1	
14	環境に配慮した，安全で快適な美術館となってほしい。	1	太陽光発電の設置等環境面の取組のほか，施設全体のユニバーサルデザインを進めていきます。
15	予定どおりのスケジュールで進めてほしい。	1	事業を計画的に実施できるよう努めてまいります。
16	リピーターを増やせるような施設・館内に。	1	京都の岡崎地域中核ゾーンに位置する強みを生かしつつ，アメニティ機能の強化や地域案内機能を新設し，また来たいと思っていただける施設となれるよう努めてまいります。

17	整備スケジュールがタイトではないか。	2	事業を効率的、計画的に実施することで目標とする美術館像を実現できるよう、いただいた御意見も参考に進めてまいります。
18	焦らずに良いものを作ってほしい。	1	
19	美術館の将来像や目指す展覧会を具体的に示してほしい。	2	将来構想に掲げた目指す美術館像の具体的なイメージや進捗状況をより分かりやすくお伝えできるよう、これからも努めてまいります。
20	将来構想の進展について、早期に具体的な情報の共有を。	1	
21	現状維持すべきであり、新棟の建設に反対。	1	展示室や収蔵スペース、アメニティ施設の不足に対応するため、建物の増設は必要と考えております。
22	建設期間中の展覧会はどうか。	1	整備期間中、本館の開館は困難ではありますが、できる限り工期の短縮を図るとともに、工事の着手時期や期間、別館の活用などの対応策について、速やかに情報提供できるよう努めてまいります。
23	改修期間中の公募団体企画展の対応についての情報提供を望む。	1	
24	再整備に合わせて、東山駅を京都市美術館前駅と改称してほしい。	1	現在駅名の改称は予定されておりましたが、美術館のアクセス向上に努めてまいります。

2 施設整備方針について（計174件）

(1) 本館について(34件)

No.	御意見の内容	件数	本市の考え方
25	本館内部は、光を取り込んで明るくした静かな空間を望む。	2	2階展示室や1階大展示室など自然光が入る展示室については、窓に紫外線を除去する機能等を設け、施設としての魅力を維持していきます。
26	本館は外観を保存してほしい。	8	本館の外観については、我が国を代表する近代建築として、建物の風格を失うことなく保存してまいります。本館の内部は断熱補強や空調設備の刷新により、全展示室の展示環境を大幅に改善してまいります。
27	今の本館の雰囲気や損なうことのないようにしてほしい。	3	
28	本館内部を新しくすることに賛成。	2	
29	中庭の活用に期待。	4	中庭は憩いのスペース、野外展示スペースとして再生してまいります。
30	京都らしい常設展示室（館）の設置・拡大を。	3	京都画壇を多角的に紹介する常設展のためのスペースを設けてまいります。
31	本館にアメニティ施設を設けてほしい。	2	新規のアメニティ施設は主に新棟への設置を検討していますが、御意見も踏まえ、本館のアメニティ機能向上に引き続き努めてまいります。
32	本館にエレベーターの設置を。	1	本館へのエレベーターの新設は技術的な面から困難と判断されますが、御意見も踏まえ、既存設備の改修等、引き続き本館の利便性向上に努めてま

			います。
33	公募展の展示室を今までどおり入りやすく見やすい所に。	1	これまでどおり、企画展や貸館展示スペースを本館内に確保してまいります。
34	本館にエスカレーターの設置を。	2	本館へのエスカレーターの新設は技術的な面から困難と判断されますが、御意見も踏まえ、引き続き本館の利便性向上に努めてまいります。
35	4つのエントランスロビーの開放を。	1	本館の外部への開口部分は展覧会との関係から開閉を調整する必要がありますが、御意見も踏まえ、屋外への行き来がしやすく、ゆったりとしたエントランスやテラスにできるよう努めてまいります。
36	エントランスを整理されたイメージにしてほしい。	1	
37	本館2階南側のベランダから外に出られるように。	1	
38	中庭、二階の空スペース、地下の活用が大切。	1	京都市美術館の敷地、建物をできる限り有効活用した再整備を実現できるよう、今後の基本設計検討の中で努めてまいります。
39	本館の内装・外装は京都らしく。	1	京都の特性や本館の持つ魅力を生かした整備を実現できるよう、今後の基本設計検討の中で努めてまいります。
40	再整備において、一貫するコンセプトが見えない。	1	再整備のコンセプトである将来構想で掲げた美術館像について、市民の皆様により具体的に分かりやすくお伝えできるよう、努めてまいります。

(2) 新棟について(66件)

No.	御意見の内容	件数	本市の考え方
41	エントランス前に、雨に濡れない広々としたスペースを。	3	すべての人にとって優しく、使いやすいエントランスロビーを、正面玄関と連絡する形で配置してまいります。
42	玄関の段差をなくし、出入口を大きくして子連れに配慮を。	1	
43	休憩スペースとなるレストラン・カフェの設置を期待・希望。	10	岡崎地域全体の文化・交流拠点を目指し、休憩スペースとなるミュージアムショップやカフェの新設、地域のコンシェルジュ機能の設置を行います。
44	開かれたアメニティ施設として周辺地域活性化に。	3	
45	周辺情報を紹介する案内所があると便利。	1	
46	アメニティ施設は京都会館に負けないように。	1	
47	本館の玄関を隠すことがないよう、新棟設置場所の配慮を。	7	新棟は、周囲の景観・本館との調和を図ったデザインにするとともに、地下空間を大胆に活用して設置を検討します。
48	新棟の地下への設置に賛成。	3	
49	新棟は景観に配慮してほしい。	2	
50	新棟は本館の魅力を邪魔しないようなもの	1	

	に。		
51	新棟を建設する場所に広場を残してほしい。	1	
52	現代美術が展示できる新館整備に賛成。	3	新棟には、現代美術等の展示のための新たなスペースを設けます。
53	託児室の設置に期待。	3	子ども連れの来館者も安心して美術館賞を楽しめるよう、新棟には託児室に利用できる多目的室等、子供のためのスペースを整備してまいります。
54	子ども用スペースの整備に期待。	2	
55	講演室やワークショップルームで芸術に関するレクチャーの実施を。	1	来館者のニーズに即したプログラムが提供できるよう、ワークショップルームや講演室を新設してまいります。
56	大人向けにワークショップルームの充実を。	1	
57	効率的な搬入搬出の動線確保に配慮を。	1	現状の搬出入口を拡張し、搬出入の効率化につなげます。
58	若手アーティストが恒常的に使用できるスペースの設置を。	3	スペースの提供を含め、若手作家への支援に今後も取り組んでまいります。
59	搬出入口・新棟の設置範囲が地区計画にそぐわないのではないかと。	2	新棟建設想定範囲はイメージであり、地下も含めたものになっております。関係法令を踏まえ、基本設計の中で位置を決定してまいります。
60	美術に特化した図書館等がほしい。	2	スペース等の関係から図書館の設置は予定していませんが、所蔵する図書を検索する情報コーナーや閲覧スペースを整備してまいります。
61	レストランに美術館とは別の出入口を作り、夜の運営も可能に。	1	出入口を含めたレストランの設置場所の詳細は御意見も踏まえ今後の基本設計にて決定してまいります。
62	案内関係は一括化・デジタル化してほしい。	1	来館者にとって分かりやすく、観覧しやすい美術館になれるよう検討してまいります。
63	新棟の地下と本館とつなげる地下通路の設置を。	1	新棟の地下と本館とつなげる地下通路の設置は技術的な検討が必要となりますが、御意見も踏まえ、引き続き施設全体の利便性向上に努めてまいります。
64	現代美術の展示スペースの広さの再検討を。	1	内装や外装、諸室の在り方等、新棟の建物としての詳細は基本設計にて決定してまいります。御意見も踏まえ、美術館の魅力を高める施設となるよう努めてまいります。
65	現代美術の展示スペースは、国立新美術館（東京）を参考に。	1	
66	新棟の内装や外装は京都らしく。	2	

67	子ども向け施設のインテリアは明るく。	1		
68	新館は温かみを感じられるデザインに。	1		
69	新館は本館とは対照的な斬新なデザインに。	1		
70	新棟の内装は昭和初期のものに合わせるべき。	1		
71	新棟の屋上利用の検討を。	1		
72	建物自体が作品とされる新棟にするために誰が設計を行うのか。	1		設計者は、今後公募型技術提案（プロポーザル）にて選定してまいります。
73	本館の入り口近くに京都らしいカフェの設置を。	1		新設のアメニティ施設は主に新棟への設置を検討していますが、御意見も踏まえ、本館周辺のオープンスペースを活用したアメニティ機能の向上に努めてまいります。
74	美術館の前庭スペースを活用してオープンカフェを。	1		

(3) その他(74件)

No.	御意見の内容	件数	本市の考え方
75	高齢者や子ども連れ客等に配慮し、展示スペースを含めて余裕を持たせ、座って休める場所を増やしてほしい。	4	高齢者・妊婦・子ども連れの方々も含め、すべての人が快適に過ごせるよう、施設のユニバーサルデザイン化を推進してまいります。
76	エレベーターの設置を。	3	
77	新棟を含めて施設のバリアフリー化を図ってほしい。	2	
78	疏水浴で飲食等を可能にし、多くの人が憩える空間にリニューアルを。	4	疏水沿いの南側エリアは、桜並木を活かした憩いと交流のスペースとして整備してまいります。
79	日本庭園の活用を含めた再整備を。	3	日本庭園は、保存と積極的な活用を図ってまいります。
80	無料エリアで借りることができるトイレを設置してほしい。	3	新棟に、一般利用が可能なトイレを新設してまいります。
81	本館と新棟の関係性を良いものにしてほしい。	2	新棟は、周囲の景観・本館との調和を図ったデザインとし、本館に配置されない機能を割り当てることとします。
82	神宮道に面した景観を大切にしてほしい。	1	
83	民間からの提案の活用等を含め、事務所棟は有効に活用してほしい。	2	事務所棟はアートを意識した賑わい施設への転用を目指し、民間からの提案も活用し検討してまいります。
84	オープンスペースの魅力をもっと生かしてほしい。	1	日本庭園や中庭、疏水に面した南側スペースなどのオープンスペースは、憩いと賑わいのエリアとして活用してまいります。
85	最先端の環境技術を導入してほしい。	1	太陽光発電や屋上緑化、コージェネレーションシステムの設置等を検討し、環境に最大限配慮してまいります。
86	自転車、バイクを駐車する場所の確保が必要。	1	本館敷地内に駐輪場を整備してまいります。

87	市民向け展示スペースの設置を。	1	新たな展示スペースを新設し、市民の方にも御利用いただきます。
88	施設に関する主な課題設定に同意。	1	老朽化等、施設に関する課題を解決していけるよう、基本計画に即した整備を進めてまいります。
89	屋内で自然光で彫刻を鑑賞できる設備を。	1	中庭の再生において、屋根の設置や彫刻等の展示も検討してまいります。
90	東側に飲食店を設置してほしい。	3	日本庭園や事務所棟等、敷地の東側部分は来館者の憩いと賑わいのスペースとして活用を検討してまいります。いただいた御意見はその際の参考とさせていただきます。
91	日本庭園と事務所棟を見直してほしい。	1	
92	事務所棟を、アートを意識した施設に転用するのは反対。	1	
93	日本庭園を西側に移設してはどうか。	1	
94	事務所棟等に、若手アーティストが利用できるスペースの設置を。	1	
95	エスカレーターの設置を。	2	基本設計の中で、施設の利便性の向上に努めてまいります。いただいた御意見はその際の参考とさせていただきます。
96	展示ケースは一枚ガラスにする、高さを変える等の工夫を。	2	整備後の各建物に設置する設備の詳細や内装の在り方は基本設計にて決定してまいります。いただいた御意見はその際の参考とさせていただきます。
97	運搬に必要な設備・道具も整備すべき。	1	
98	施設面は多様な利用ができるようなシンプルな空間に。	1	
99	バス停前の展覧会案内板を大きく。	1	
100	靴音が響かない床にしてほしい。	1	
101	壁面のコンセント増設を。	1	
102	工芸作品の展示のための可動式の壁の設置を。	1	
103	車イス・妊産婦等のみが通る専用ルートを設ける等、施設面の工夫をしてほしい。	2	施設全体のユニバーサルデザイン化を進めていく中で、いただいた御意見を参考とさせていただきます。
104	門柱等歴史的価値のある建造物は保存を。	2	京都市美術館の歴史的背景や建築的価値をしっかりと踏まえ、整備を進めてまいります。
105	既存の建造物は当初の姿に復元し、新棟は地下に設けるべき。	1	
106	子どもがわくわくするような施設となるよう整備してほしい。	1	子どもを含めた幅広い世代の人々が集う美術館となれるよう取り組んでまいります。
107	樹木をできるだけ残してほしい。	1	敷地内の樹木の保全に配慮してまいります。
108	建物内に緑がほしい。	1	
109	利用者向け控え室の設置を。	1	整備後の諸室の在り方や利用方法の詳細は基本設計にて決定してまいります。いただいた御意見はその際の参考とさせていただきます。
110	美しい着物の展示が出来るスペースを。	1	
111	明るい環境で作品を鑑賞できるようにしてほしい。	1	
112	館内に外光・空を取り入れてほしい。	1	本館の自然光が入る展示室は、窓に紫外線を除去する機能等を設け、施設としての魅力を維持してまいります。

113	アメニティ施設は周辺の建物にあれば十分である。	1	アメニティ施設の内容や配置等の詳細は基本設計にて決定していきますが、いただいた御意見はその際の参考とさせていただきます。
114	敷地内にコンビニがほしい。	1	
115	岡崎地下駐車場からも、地上に出ることなく入場できるような整備を。	1	本再整備は、美術館の敷地の範囲内での実施を予定しております。
116	新棟建設に反対。岡崎グラウンドに新しい美術館を整備すべき。	1	
117	京都の町を見渡せる美術館を希望。	1	京都の町を見渡せるような高さの建物は規制の点から困難です。
118	コジェネシステムを導入してほしい。	1	太陽光発電の設置やリサイクル材の利用等、環境に配慮した取組を進めてまいります。
119	コジェネ等、環境配慮型の取組が来館者に見えるような再整備を行ってほしい。	1	
120	ごみ箱設置と廃棄物保管庫整備の検討を。	1	
121	20年程度で建直すことを繰り返すという建物の在り方はどうか。	1	50年後、100年後を見据え、施設の耐久性や長寿命化もしっかりと考慮し、再整備を進めてまいります。
122	設計者は国際デザインコンペで選定すべき。	1	設計者は公募型技術提案（プロポーザル）での選定を予定しております。
123	地下への増築は地盤や費用が心配。	1	本再整備では大型バス用の駐車場は予定しておりませんが、地下への増築を行う場合は、安全性や費用面、適する機能等について十分な技術的検討を行ってまいります。
124	美術館地下に大型バス等を駐車できるようにしてほしい。	1	
125	トイレの位置を工夫してほしい。	1	トイレについても、より利用しやすいものとなるよう、基本設計の中で検討してまいります。
126	広く綺麗なお手洗いを設置してほしい。	1	
127	別館を一緒に整備してほしい。	1	本再整備では別館は対象としておりませんが、今後の運営の中で独自性のある活用を検討してまいります。

3 運営方針について（計141件）

No.	御意見の内容	件数	本市の考え方
128	地域の芸術大学・高校との多様な連携を行ってほしい。	3	芸術系大学や高校と連携し、ワークショップルーム等で独自の先駆的教育を体験できる場を提供してまいります。
129	夜間を含めた開場時間の見直しを。	6	夜間開館については、ライトアップ等周辺地域のイベントとの連携を十分に考慮しながら、検討してまいります。
130	子ども向けプログラム・イベントの充実を。	6	子ども向け等各種プログラムやワークショップを実施していく予定ですが、その際は分かりやすさにも十分配慮してまいります。
131	各種プログラムは子供や初心者にも分かりやすいように。	2	

132	人員体制の充実が必要。	5	運営体制については、外部キュレーターの採用やインターン制度の活用等、時代のニーズに即した人員配置の枠組を創設し、充実・強化を図ってまいります。
133	常勤の学芸員のレベルアップ・数の増加を。	5	
134	広報等の総合的な統括は民間に任せて、効果的に実施すべき。	4	
135	整備のみではなく、広報等運営面の取組も同時に実施すべき。	3	
136	民間ノウハウの導入を積極的に進めるべき。	2	
137	広報に力を入れてほしい。	1	広報等、民間の人材、ノウハウが行かせる部門については民間活力の導入も視野に、体制や取組を検討してまいります。
138	京都らしい歴史を感じさせる常設展に期待。	4	
139	所蔵品をしっかりと活用した展覧会をしてほしい。	2	
140	飲食店は美術の世界が感じられる雰囲気のあるものに。	3	
141	アメニティ施設は、事業者を含め、地域の特性を生かした特色のあるものに。	3	
142	飲食店を含め、アートの世界に浸れる雰囲気を。	2	飲食店の内容や運営の在り方等の詳細は今後の検討事項となりますが、岡崎地域全体の文化・交流拠点となれるよう検討を進めてまいります。
143	日本庭園の活用を。	3	
144	日本庭園、事務所棟等が位置する東エリアの活用策を。	1	
145	新しい収蔵品を増やし、収蔵品を充実してほしい。	3	
146	収蔵品の収集にも予算を割くべき。	1	
147	若い人を引き付けられるよう現代美術作品の展示を。	2	世界が注目する多様な芸術表現を取り上げた現代美術等の企画展を開催してまいります。
148	ウェディング、MICE等多目的に美術館施設を使用できるように。	2	
149	大展示室の活用の方向性に賛同。	1	
150	子供連れの来館者のために、トイレに簡易ベッドを設置してほしい。	1	すべての人が快適に過ごせるよう、施設のユニバーサルデザイン化を推進してまいります。
151	市民ボランティア活動を採用してほしい。	1	
152	周辺の施設と連携して、岡崎エリア一帯を盛り上げる取組を。	1	
			岡崎地域のコンシェルジュ機能等の設置を検討し、地域全体の文化・交流拠点として活性化に寄与できるよう努めてまいります。

153	財源の捻出のために、新たな資金調達手法の考案、整備費の圧縮を。	1	美術館の魅力をより高めていくため、民間のノウハウ等も参考に新たな寄付制度の創設を検討してまいります。
154	寄付することにメリットを感じられる寄付制度を。	1	
155	企業や市民向けの新たな寄付システムを作ってほしい。	1	
156	企画力と人脈を生かし資金集めができるトップのマネジメントを。	1	
157	イベント等の新しい試みに期待。	4	現代美術の企画展や関連イベントの実施等、新たな取組を推進してまいります。
158	ワークショップや飲食等、一日楽しめるような美術館に。	1	将来構想に掲げた「ゆっくり滞在しゆっくり楽しめる」美術館像を実現できるよう、着実に施設面と運営面の取組を進めてまいります。
159	疲れたときに一休みできる場所がほしい。	1	
160	市民が実施する展覧会の利用枠の確保を。	1	引き続き、市民の皆様の展覧の機会を確保できるよう努めてまいります。
161	見直しを含め、公募展・企画展の工夫に期待。	3	御提案も参考にしながら、より多くの人がより良い環境の中で多様な展覧会を鑑賞できるよう検討してまいります。
162	新棟でも海外展や常設展を行ってほしい。	2	
163	良い展覧会は、より多くの人に展示の門戸を開くべき。	1	
164	他事例を研究し、他美術館との棲み分けや参考になる取組を行うべき。	2	御提案も参考にしながら、よりよい美術館として進化し続けられるよう、運営を検討してまいります。
165	今のままの美術館の運営を維持すべき。	1	
166	魅力的に感じてもらえるよう、外国人の受け入れ態勢を強化すべき。	2	御提案も参考にしながら、増加が予想される外国人観光客の受入体制、サービスの充実等について検討してまいります。
167	静かな雰囲気を持続するために、外国人観光客へ注意掲示すべき。	1	
168	日本庭園を使用した外国人向けの魅力発信を。	1	
169	再整備に伴う展示使用料の値上げが行われないように。	2	美術館主催展の観覧料、施設の使用料については、多くの方に利用していただき、楽しんでいただける美術館であるよう、時々の状況を踏まえ、適切な水準を維持すべく、努めてまいります。
170	海外の美術館のように、無料入場日・期間を設定してほしい。	2	
171	こどもが美術館を利用する際は無料にしてほしい。	1	
172	展覧会の入場料を安くしてほしい。	1	
173	現代美術は取り扱わない方法で考えるべき。	2	幅広い世代の人々が集う美術館を目指し、今後は現代美術も対象領域にしますが、注力する分野についてはその時々の状況を踏まえて、優先順位をつけてまいります。
174	美術のどの分野に注力するか、はっきりすべき。	1	
175	障害のある人の芸術活動を積極的に取り入れるべき。	1	

176	別館への道の表示を設置してほしい。	2	別館はアクセスの改善を図るとともに、独自性のある活用等を今後の運営の中で検討してまいります。
177	別館の来場者が少なく、知名度が低い。	1	
178	ロゴやユニフォームの統一などV I (ガイド・アテンション)を導入すべき。	2	V I 等広報手法の詳細については、御意見も踏まえ、今後の運営の中で検討してまいります。
179	作品の解説は、機械ではなく人に行ってほしい。	1	イヤホンガイドを含めた作品解説については、各々の展覧会に適した形を検討してまいります。
180	イヤホンガイドの導入を。	1	
181	岡崎通と熊野神社の間にバス停を設置してほしい。	1	現在新たなバス停の設置は予定されておきませんが、美術館へのアクセス改善に向けて取り組んでまいります。
182	目利きのキュレーターを配置し、有望な若手の作品を収集してほしい。	1	現代美術については、高い企画力を有する外部キュレーターの導入を検討してまいります。
183	商品開発に工夫のあるミュージアムショップを。	1	アメニティ施設の事業者や求める内容は今後の検討事項であります。京都市美術館のアメニティ施設としてふさわしいものとなるよう検討してまいります。
184	アメニティ施設運営には、地域の特性を生かせる事業者を選定すべき。	1	
185	高齢者の好みをふまえ、和食の提供の検討を。	1	
186	人気の展覧会での待ち時間を短縮する取組に期待。	1	御提案も参考にしながら、混雑時の緩和対策について検討してまいります。
187	混雑時は人数制限をかける等運用面で工夫してほしい。	1	
188	1階北展示室の照明の明るさの見直しを。	1	整備後の各建物に設置する設備の詳細や内装の在り方は基本設計にて決定してまいります。いただいた御意見はその際の参考とさせていただきます。
189	鍵の無くなった傘立てを工夫してほしい。	1	
190	プロジェクションマッピングの常設を。	1	
191	無料スペースや休憩の椅子がほしい。	1	
192	観覧スペース捻出のために、別館の活用や他施設との連携を図るべき。	1	
193	国際会議への活用を考慮して、本館応接間・会議室の使用を。	1	
194	様々な活動を行う充実した研究室の設置を。	1	整備後の諸室の在り方や利用方法の詳細は基本設計にて決定してまいります。多様なニーズに応えられるよう、いただいた御意見はその際の参考とさせていただきます。
195	京都マラソン時の敷地の活用方法の検討を。	1	イベント等での使用を含め、京都市美術館の敷地を有効活用できるよう、検討してまいります。
196	京都市美術館の敷地の一層の活用を。	1	
197	盲導犬への理解を進める取組が必要。	1	御提案も参考にしながら、様々な方々が安心して楽しめる美術館となれるよう努めてまいります。
198	ソフト事業の方向性をもっと明確にすべき。	1	美術館の果たすべき役割と事業の柱を明確にし、各施策の実施に取り組んでまいります。
199	ターゲット層をある程度想定して運営を考えてほしい。	1	

200	日本庭園側からも出入りできるようにしてほしい。	1	日本庭園は、保存と積極的な活用を図ってまいります。いただいた御意見はその際の参考とさせていただきます。
201	日本庭園で動物を飼うのはどうか。	1	
202	日本庭園に屋根付きベンチを設置してほしい。	1	
203	野外の作品が酸性雨による損傷を受けないよう工夫してほしい。	1	御意見も参考にして、細心の注意を払い各展示品の保全管理に努めてまいります。
204	ワークショップルーム以外でもワークショップを行ってほしい。	1	国際的な視野に立った魅力的で多彩な事業の推進を運営方針で掲げており、いただいた御意見は、各施策を実施する際の参考とさせていただきます。
205	美術館で行われたイベントをホームページで共有してほしい。	1	
206	館内で撮影会の実施を。	1	
207	企業と連携した様々な企画をしてほしい。	1	
208	京都市の姉妹都市提携の周年に合わせた企画展の開催を希望。	1	
209	京都市美術館全体が盛り上がる現代アートの祭典が必要。	1	
210	公募展開催時に本館にカフェの設置を。	1	
211	美術館主催で海外美術館ツアーを実施してほしい。	1	
212	建物に関する見学会の実施やガイドブックの制作を。	1	
213	コレクションポリシーの記載が必要。	1	